

産業道路修復事業



本事業により改良された道路

[借款概要]

承諾額/実行額	11,091百万円 / 11,025百万円
借款契約調印	1987年9月
借款契約条件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1995年9月

[事業概要]

ガーナ内陸部のクマシと国際港のあるタコラディを結ぶ幹線国道において、特に道路状態が悪い区間を改修することにより、道路輸送網の改善を図るもの。

[評価結果]

クマシはガーナ第二の都市で、カカオ、木材等の輸出品の集積地であるため、タコラディの国際港までの輸送路は同国で最重要の幹線のひとつである。本事業はこのうち老朽化の著しい区間（アンウィアンクァンタ～ヤモランサ、約175km）について拡幅、舗装工事等を実施するものであり、1990年5月に着工し、93年9月に完成した。

その後、同区間の交通量は計画時の見込を大幅に上回り、1994年から98年の間に1,012台/日から1,409台/日へと約4割増加した。また、本事業の実施前には幅員が狭く大半が未舗装であったため大型トラックの通行が困難であったが、本事業により可能となったことなどから、農産物等の輸送が大幅に改善されたものと見られる。本評価で行った沿線住民のインタビュー調査でも、大半の住民が道路の改善に満足していることが確認された。

なお、本事業完成後も過積載車輛の通行や豪雨の影響等により一部路面の劣化が顕在化したため、JBICは1999年3月に援助効果促進調査（SAPS）により維持管理の改善策を提言した。今後、維持管理予算のための財源を確保し適正な補修工事を実施して行くことが望まれる。